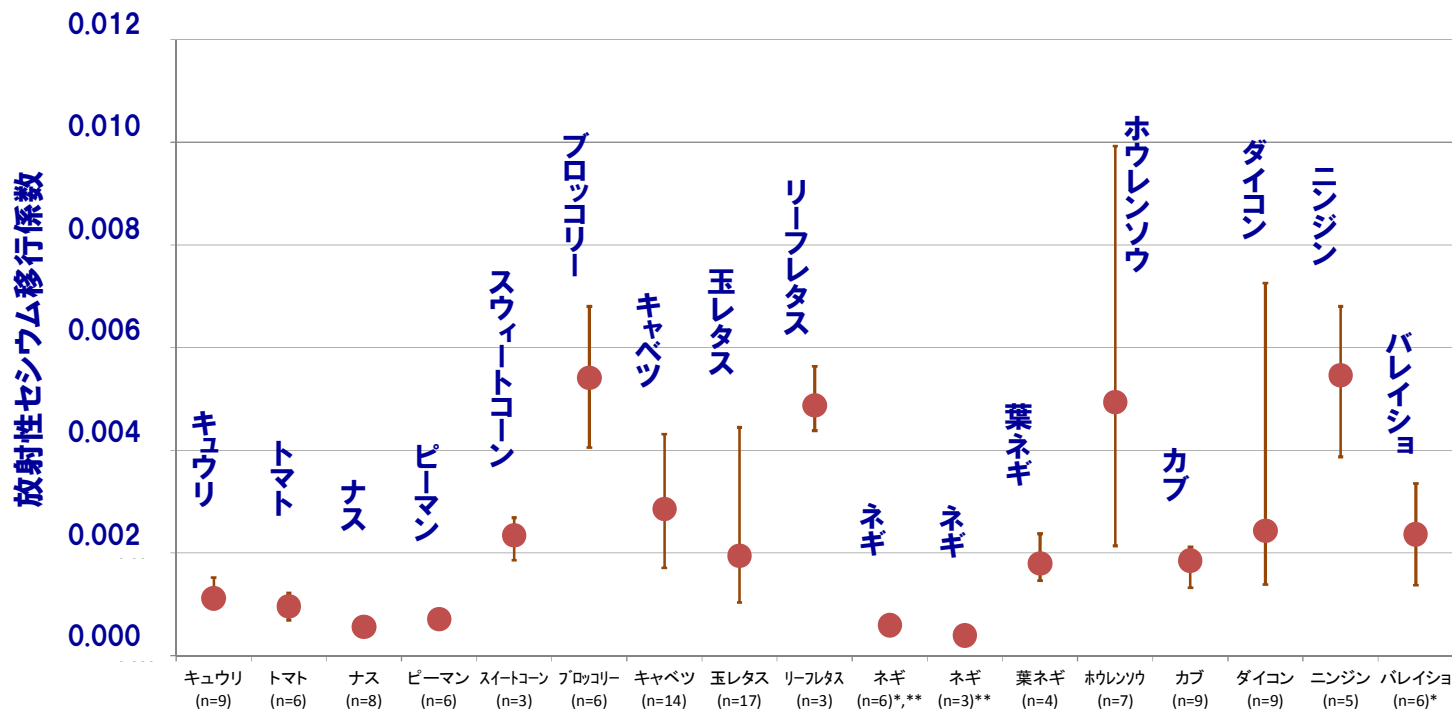


## 浪江町 代掻きが重要



# 各種夏野菜への土壌中の放射性セシウムの移行係数



- 黒ボク土畑において2011年に栽培した夏作野菜15品目への放射性セシウムの移行係数は、0.0004～0.0055である。
- 野菜類への移行は全般的に少なく、特に果菜類の係数は低い傾向にある。

(農研機構ホームページより抜粋)

# 避難指示区域における26年度試験栽培

5/25 川俣町山木屋地区 (避難指示解除準備区域)

5/29 飯館村草野向押地区 (居住制限区域)

5/28 飯館村小宮地区 (居住制限区域)

5/16 浪江町酒田地区 (居住制限区域)

5/26 葛尾村上葛尾地区 (避難指示解除準備区域)

5/14 葛尾村広谷地区 (避難指示解除準備区域)

5/15 富岡町下郡山地区 (避難指示解除準備区域)

5/19 大熊町大川原地区 (居住制限区域)

6/1 川内村吉ノ田地区 (避難指示解除準備区域)

〈直播〉

## 帰還困難区域で初の試験栽培 コメ検出限界値未満

### 飯館村「安全性確認できた」

飯館村は十七日、東 故て営農が禁止されて 京電力福島第一原発事 いる帰還困難区域で初 めて試験栽培したコメ の放射性物質の測定結 果を発表した。全て検 出限界値未満(限界値 は一キロ当たり一〇〇) となった。

村は十月、帰還困難 放射性物質検査の結果 を発表する万福氏

区域の長泥行政区の水 田五坪でコメ約二百キ ーを収穫した。水田の中 央部や四隅など栽培位 置に偏りがないよう検 体約十五キを抽出し た。

福島市飯野町学園セ ンターで開かれた放射 能技術セミナーの席 上、村復興対策課の方 福裕造主任研究員が測 定結果を発表した。

食品衛生法の基準値 は一キロ当たり一〇〇キ ーで、万福氏は「安全性 は確認できた。今後は 消費者の信頼を得る方 法を考える必要がある」と述べた。

村は来年度以降も長 泥行政区での試験栽培 を続け、将来の営農再 開に必要なデータを収 集する。

**福島第一 原発の状況** 17日  
多核種除去設備 (ALPS) の試運 転、2・3号機のト レンチ(坑道)内に ある水の浄化作業を 継続した。

## 苺の初出荷



「検査しています」

「安全です」

生産者の都合

産地表記

検査数値表記

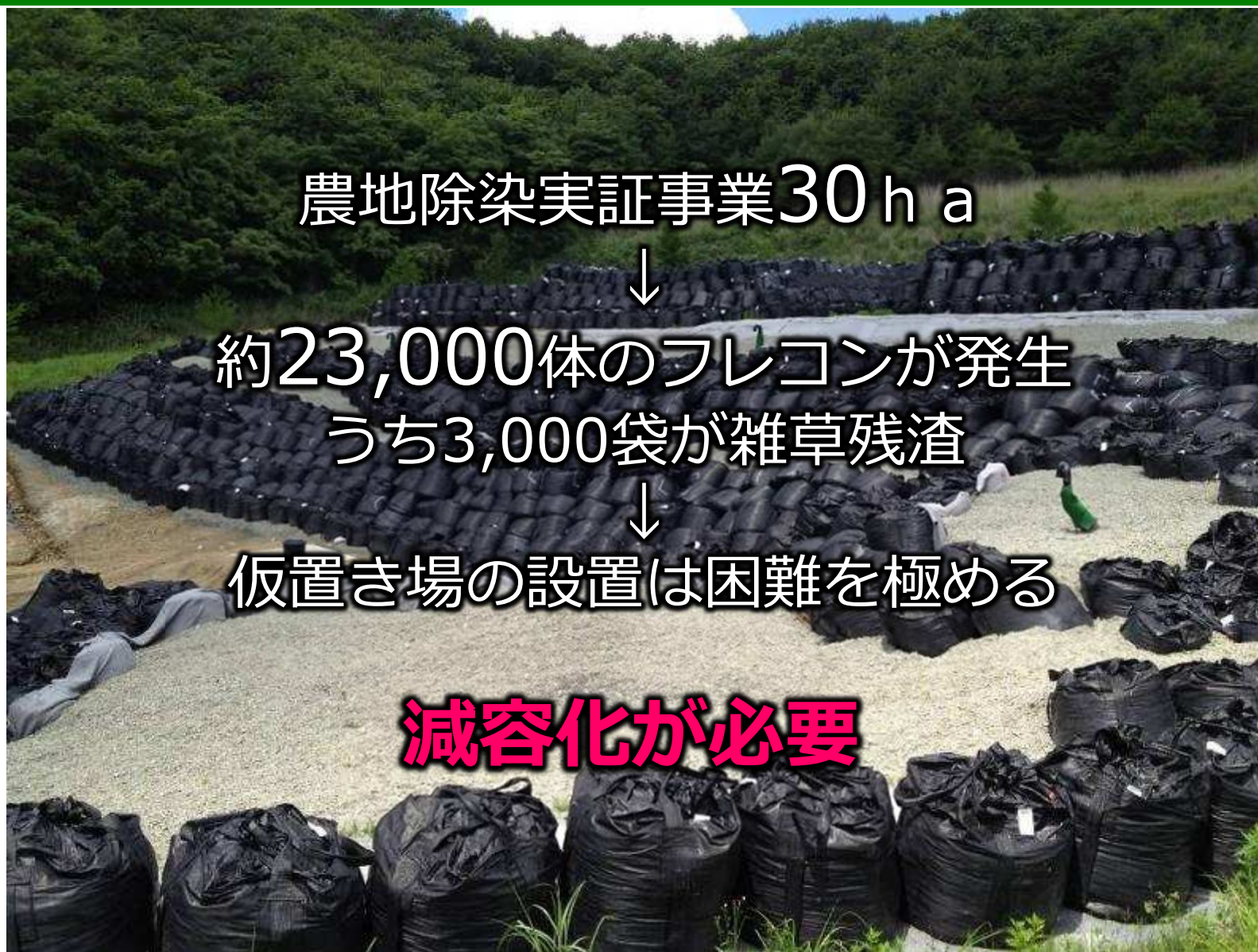
消費者が選択できるようにしなければ信用されない

## 除染で発生する大量の廃土（フレキシブルコンテナ）



農地除染により発生する大量の廃土  
農地除染ばかりでなく、宅地除染、  
森林除染でも大量の廃棄物が発生

## 仮置き場に苦慮



## 住民感情の理解、住民との距離感

- とにかく話を聞く
- わかりやすく、繰り返し説明、理解が深まるまで説明
- へこたれない
- **説明会は小さな括りから丁寧に**
- **リスクは隠さない**

# 次世代への情報・技術の継承は我々の責務

## 福島県の放射性物質汚染 被災地の現状と課題

放射性物質拡散からこれまでの現状、科学的な進展  
と除染廃棄物処理、地域再生に向けて一公開講演会



日時 11月24日(月) 午後1時半  
場所 長崎大学医学部ポンペ会館  
会議室(坂本キャンパス)

- 13:30 開会の挨拶  
長崎大学 山下徹一
- 13:40-14:10  
福島県川内村における復興支援の取り組み  
長崎大学原爆後障害医療研究所 高村昇
- 14:10-14:40 30分  
福島県の放射能汚染地域の現状と農業再生に向けての課題  
国際農林水産業研究センター 万福祐造
- 14:40-14:50 10分  
セシウムの粘土への吸着  
産業技術総合研究所 森本和也
- 14:50-15:20 30分  
最先端科学技術により暴かれた福島の土壌にあるセシウムの実態  
日本原子力研究開発機構 矢板毅
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-15:50 20分  
除染と減容化における鉱物の役割  
国際農林水産業研究センター 八田珠郎
- 15:50-16:10 20分  
セシウムのホットスポットとしての調整池  
産業技術研究所 鈴木正義
- 16:10-16:30 20分  
エネルギー・資源循環型営農の方向性  
農業・食品産業技術総合研究機構 薬師堂謙一
- 16:30-16:40 10分  
産官学連合による研究の紹介  
独立行政法人 物質・材料研究機構 山田裕久
- 16:40 総合ディスカッション。総評  
長崎大学 山下徹一

先送りされる問題について、現状の把握、説明は我々の責務。  
将来、何かあったときに何も対応出来ないことのないよう、将来を見据えた研究開発こそ望まれる。



放射性物質拡散からこれまでの現状と直轄除染エリアの除染廃棄物処理と農業再生に向けて



ご清聴ありがとう

ございました